

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調査書

4-V-5

4-V-5

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	エコツーリズムの啓発
	節 V. 来訪者マナーの醸成			
	事業(施策)名	5 エコツーリズム普及啓発	事業主体	佐渡市観光振興課
			関連団体	県観光企画課、新潟市観光政策課、長岡市観光企画課、上越市観光交流推進課、県観光協会、佐渡観光交流機構、佐渡トレッキング協議会
事業実施期間	H28～R4			
事業概要	【事業目的】	○自然環境や歴史文化など地域固有の魅力を来訪者に伝え、その価値や保全の大切さについて理解促進を図る。		
	【事業内容】	○ホームページや各種リーフレットのほか、旅行代理店等への働きかけによってエコツーリズムの普及を図る。		
30 事業 計画 と 実績	【30年度計画】	<ul style="list-style-type: none"> ●現地発着の「佐渡エンジョイプラン」パンフレットを年2回作成し、自然や歴史文化が体験できるプログラムを紹介する。 ●トレッキングマップや各種リーフレットでマナー向上を呼びかけ、佐渡奉行所やゴールデン佐渡を含む自然や歴史が体験できるトレッキングを推進する。 		
	【30年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ●佐渡エンジョイプランとして佐渡観光協会と連携し66本のプログラムを企画し、上期で1142人の参加があった。 ●佐渡の自然を満喫してもらうため、佐渡観光協会やトレッキング協議会と連携し、マップやホームページでの最新情報の発信を行った結果、トレッキング客は年間 26,000人(前年21,000人)となった。 		
課題・今後の取組	【課題】	■新たなプラン造成及びインターネット利用による訴求力アップを図っているが、引き続き観光ニーズの多様化に対応すべく、既存プランのブラッシュアップ及び新企画開発を進める必要がある。		
	【今後の取組】	■各プログラムの利用状況をチェックし、観光客ニーズにあった魅力あるプログラムの開発・ブラッシュアップを実施していく。		
事業評価	【事業の達成度】	◇当初計画どおり事業を実施したことからBとした。 [a ・ b ・ c]		
	【事業実施の効果】	[a ・ b ・ c]		
	【総合評価】	[A ・ B ・ C]		

a:進んでいる。高い。
b:概ね順調。概ね適切。
c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。